

神＝愛＝律法＝神のみこころの啓示＝神のご品性の写し

神＝愛 →ヨハネの手紙一 4：8

愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです（同 4：16＝神は愛です）。

He that loveth not knoweth not God; for God is love.

愛＝律法 →ローマの信徒への手紙 13：10

愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするものです。

愛は隣りに害を加えることはない。だから、愛は律法を完成するものである（口語訳）。

Love worketh no ill to his neighbour: therefore love is the fulfilling of the law.

神の律法は、神ご自身と同様に、神聖なものである。それは、神の意志の啓示であり、神の品性の写し、神の愛と知恵の表現である（希望への光 P. 27、人類のあけぼの 第4章 エデンの園の悲劇）。

神の律法は、神のみこころの啓示であり、神のご品性の写しである（希望への光 P. 1805、各時代の大争闘 第25章 預言に現れたアメリカ合衆国）。

▶マタイによる福音書 22：36～40（マルコによる福音書 12：28～31、ルカによる福音書 10：25～28）（モーセ五書を研究するある律法の専門家が尋ねた。）「先生、律法の中で、どの掟（→聖書協会共同訳：戒め、口語訳：いましめ、以下同じ）が最も重要でしょうか。」

イエスは言われた。『心を尽くし、精神（→聖書協会共同訳：魂、以下同じ）を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』

これが最も重要な第一の掟である。

第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』

律法全体と預言者※1は、この二つの掟に基づいている。」

▶ヨハネによる福音書 15：10

わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。

▶ヨハネの手紙二 6節

愛とは、御父の掟に従って歩むことであり、この掟とは、あなたがたが初めから聞いていたように、愛に歩むことです。



神＝愛＝律法＝神のみこころ(意志)の啓示＝神のご品性の写し＝神の愛と知恵の表現

※1：**律法**（全体）と**預言者**

律法（トラー Torah）＝モーセ五書（ペンタテューク Pentateuch）：創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記

預言者（ネビーム）

- ・**前預言者**：古代イスラエル史の流れ
ヨシュア記、士師記、サムエル記（上、下）、列王記（上、下）
- ・**後預言者**：一般的に考えられる預言者の書
イザヤ書、エレミヤ書、エゼキエル書→エレミヤ＝涙の預言者
- ・**十二預言書**：ホセア書、ヨエル書、アモス書、オバデヤ書、ヨナ書、ミカ書、ナホム書、ハバクク書、ゼファニヤ書、ハガイ書、ゼカリヤ書、マラキ書